

とら年も残りわずかです。とら年は「新しく立ち上げる」「芽吹いたものが成長する」という年回りだそうです。この一年を振り返っていかがだったでしょうか。来年はうさぎ年です。大変なことがあったとしてもウサギのようにぴょんぴょん跳ねて、世の中が上向いていくことを祈りつつ、皆さま良いお年をお迎えください。

知っとこ! 「税」のマメ知識

今月のマメ知識:【納めた税金が間違っていたことに気づいたら?】

今回は「誤って税金を多く納めていたり、もしくは少なく納めていたことに気がついた場合の対処方法」についてお話しします。計算間違いなどで税金が正しく納められていなかった場合には当然、訂正をすることになります。しかし「多く納めていた場合」と「少なく納めていた場合」とでは訂正の仕方が異なります。まず「多く納めていた場合」は「更正の請求書」という書類に訂正事項を記載して提出します。その際の注意点は、原則として法定申告期限から5年以内に行わなければならないということです。一方で「少なく納めていた場合」は「修正申告書」を提出します。こちらも法定申告期限から5年以内ですが、悪質な行為が発覚した場合は7年以内まで延長されます。この場合、追加の税金を納めるとともに、過少申告加算税（悪質な行為の場合は、過少申告加算税に代えて重加算税）や延滞税などの附帯税を納付する必要があります。なおこの附帯税は損金（いわゆる経費）には算入することができません。



意外に知らない暦の話

せわしない年の瀬なので「すでに初詣の予定を入れた」という方もいらっしゃるかもしれません。新年の神社仏閣は大にぎわいで楽しそうですね。とはいえ場合によっては「人混みは避けたいなあ」ということもあるでしょう。そんな方にお伝えしたいのが1月4日の「石の日」、またの名を「ストーンズデー」。これは「1=い、4=し」の語呂合わせからできた記念日で、この日、願いがかけられた石——「お地蔵様」や「こま犬」などに触れると願いがかなうのだとか。三が日の後であればぐっと人出も減りますから、あえて「石の日」に足を運んでみるのも一策ではないでしょうか。いつも寝正月という方にも「石の日」の参拝はおすすめです。そして特筆すべきはこの願掛け、なんと「墓石」でもOKなのだとか！年始の墓参りは控える地域もあるようですが、そうでなければぜひご先祖様へ年頭のごあいさつを差し上げつつ、墓石をなでながらお参りしてはいかがでしょうか。

主婦川柳 @ 奥さまの細道

家族旅行
部屋で
取り合う
コンセント
(宿では皆、
充電に必死よ)

魚を焼いたり鍋を焦がしたりすると、キッチンやリビングなどに臭いがこもってなかなか消えませんが、臭いが部屋に充満していると、濡らしたタオルで部屋の空気をパタパタあおぎましょう。タオルについていた水分が臭いを手早く吸収して、消臭に一役買います。

知得する! 知恵袋

才人の言葉

行く手をふさがれたら
回り道で行けばいいのよ

アメリカの実業家であるメアリー・ケイ・アッシュの言葉。大きな壁は無理に打ち破らなくてもいい。回り道で進んだほうが新たな景色も楽しめるというもの

振り向けばあそこにも ここにも 商売のヒント

今月の商売のヒント：【ばら色の未来を望むなら】

過去は決して変えられない。おそらくそう思っている方が多いでしょう。ところが「記憶」は変えられるとしたらどうでしょうか。「記憶を引き出す」という言い方をするせいか、私たちは記憶を固定的な「もの」のように考えがちです。しかし実のところ、記憶は非常にあいまいなものであり「もの」ではなく脳の一種の「状態」なのだとか。ですから、思い出すときの心理状態で記憶の中身が変わることもあります。例えば、盛大に夫婦げんかをした記憶。それを気分が良いときに思い出すと、あれほど頭にきた相手の言動がそれほど気にならず、むしろ「こちら悪かった・・・」と反省もできる。ところがイライラしながら思い出すと「やっぱり頭に来る！」と怒りが再燃。このような経験はありませんか？夫婦げんかという「過去の出来事」は変わりませんが、嫌な記憶を良い気分で思い出すことによって「記憶の印象」をガラッと染め変えることができるのです。思い出すときの気分が記憶の印象を左右するのは、未来に対しても同じことです。将来を良い気分で思い描いておけば、この先、将来を思うたびに「良い感じ」がよみがえって、ますます将来像が良い感じになっていくでしょう。逆に暗い気持ちで将来を思い描けば、先のことを考えるたびに暗い気持ちもよみがえって、明るい見通しが立たなくなります。つまりばら色の未来を望むのであれば「今」をばら色の気分で過ごし、記憶を「ばら色」に染めておく、というわけです。実際の出来事はともかく、気分はばら色で商売する。単純なことですが、これからの日本を考えると、これはやってみる価値は大いにありそうです。



今月のトピック：【『地球の歩き方』東京 多摩地域】

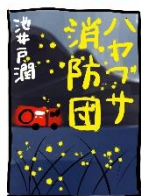
東京 23 区外の多摩 30 市町村を網羅した『地球の歩き方』の「東京 多摩地域」に注目です。海外旅行の定番ガイドブックらしくクチコミやコラム記事が充実した内容で、初の国内版「東京」よりもハイペースで売り上げを伸ばしています。多摩住民の関心も高く、地元の書店や図書館でも人気です。苦境に立つ旅行業界でうれしい快進撃です。



トナリの本棚

【ハヤブサ消防団】

とある田舎町を舞台にした池井戸潤の小説です。東京から移住してきたミステリー作家が連続放火事件の謎を追う。ページをめくる手が止まらない一冊です。



元氣と氣づきを提供する
東京都豊島区池袋の佐藤茂税理士事務所

豊島区池袋 2-60-7 ルート池袋第 3 ビル 4 階

電話：03-3988-8820 FAX：03-3988-8824

<http://www.satousigeru.jp>